

61 農業関係試験研究国立研究開発法人の機能強化

【令和6年度予算概算要求額 2,519（575）百万円】

＜対策のポイント＞

スマート技術等の新技術について、農業研究の中核を担う農研機構を中心に産学官の連携を強化して開発を進めるため、研究連携の基盤となる農研機構の有する知見や研究手法・ノウハウ等を効果的に活用することが可能となる施設等の整備を行い、人口減少下においても生産水準が維持できる生産性の高い食料供給体制の確立を目指します。

＜事業目標＞

産学官連携の強化による研究開発の推進、我が国の優良な植物新品種の開発と海外品種登録の推進及び研究成果の早期創出

＜事業の内容＞

1. 産学官連携機能の強化のための施設の整備

農研機構の有する知見や設備等を産学官が連携して利用するため、スマート農業技術及び品種開発に関連する施設を整備します。

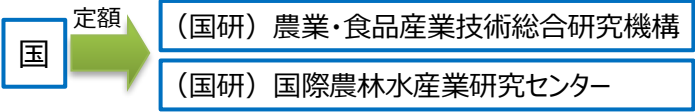
2. 新品種の保護強化のための特性審査の高度化

国内外において品種登録を加速すべき主要な輸出品目の品種について、国際基準に合致した高度な特性審査を行うための栽培試験施設を整備します。

3. 研究開発等の基盤となる施設の整備・改修

研究開発や原々種生産業務の基盤となる施設を整備・改修するとともに、新たな研究ニーズに対応するための研究施設を整備します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究調整課（03-3502-7472）